

【観光遺産産業化ファンド】 「株式会社BrewGood」に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、6月14日付で、株式会社BrewGood（以下「BG社」という。）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、今回の投資は第1号投資案件である㈱遠野ふるさと商社を通じて取り組んできた、岩手県遠野市の観光活性化及び物産振興施策の一環であり、本ファンドの第20号案件となります。

岩手県遠野市は国内随一のホップ生産地として、半世紀以上にわたりホップ栽培を続けていますが、ホップ栽培農家の高齢化等により、昨今は生産量の減少が続いています。遠野市では2007年に「TKプロジェクト」を発足し、官民一体で、「ビールの里構想」を推進しています。これまで、持続可能な日本産ホップ栽培の実現及び「ホップ・ビール」を核とした新たな産業の創造を目指してきました。また、遠野市の新たな観光推進基本計画において、「ホップ・ビール」は重要な観光テーマとして位置付けられ、「ホップ・ビール」を活用した観光コンテンツが求められている状況にあります。

このような中で、2018年の会社設立時より「ビールの里構想」のマネジメント業務を請け負ってきたBG社は、「遠野版ビアツーリズム」の推進に向け、地産ホップを使ったビール醸造施設を新設することとなりました。本醸造施設はブルーイング（醸造）機能だけでなく、本施設を活用したツアー造成、さらに醸造体験サービスの提供にも着手していきます。また、小型の醸造タンクを活用し、市内の飲食店や宿泊事業者向けオリジナルビールの醸造を積極的に推進していくことで、市内の回遊へ繋げ、遠野市の観光産業の活性化に寄与していきます。

なお、BG社では醸造事業に加え、新品種ホップの開発並びに独自のホップ加工技術の研究も手掛けており、同社によるホップの個性・特徴を感じられるオリジナルビールの醸造を通じて、「遠野産ホップ」のブランディングも図っていきます。

本ファンドは、BG社における取り組みを支援することで、遠野市の新たな観光モデルの創出、地域の面的活性化並びに地域ブランディングに貢献してまいります。

【投資先の概要】

会社名	株式会社BrewGood
所在地	岩手県遠野市
代表者	代表取締役 田村 淳一
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・地域の活性化を図るための事業の企画、立案、コンサルティング及びその受託に関する業務・各種イベント、講座等の企画、運営、管理・観光情報の提供及びツアーの企画・運営 など

【本醸造所で使われる遠野産ホップ】



【ホップ畑で飲むビール(ビアツーリズム)】



【観光遺産産業化ファンドの概要】

<https://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590